

2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社グラフィコ 上場取引所 東
コード番号 4930 URL <https://www.graphico.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 長谷川 純代
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO兼管理本部長（氏名） 榎並 正太郎（TEL） 03-5759-5077
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年6月期第1四半期の業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,563	1.7	108	△28.8	175	30.2	109	17.4
2023年6月期第1四半期	1,536	37.5	152	26.8	134	10.1	93	10.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	116.92	113.58
2023年6月期第1四半期	100.16	97.27

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	3,805	2,393	62.9
2023年6月期	3,842	2,315	60.2

（参考）自己資本 2024年6月期第1四半期 2,393百万円 2023年6月期 2,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,268	12.9	303	21.6	310	26.6	215	27.0	229.83
通期	5,765	13.5	331	20.8	346	7.3	240	8.5	256.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期1Q	938,540株	2023年6月期	938,540株
------------	----------	----------	----------

② 期末自己株式数

2024年6月期1Q	74株	2023年6月期	74株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期1Q	938,466株	2023年6月期1Q	932,904株
------------	----------	------------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類移行やインバウンド需要の回復等、景気に緩やかな持ち直しの動きはありますが、依然として原材料価格の高騰、為替相場の円安進行等も続いており、先行きは不透明な状況が継続しております。

当社が属する健康食品、化粧品及び日用雑貨業界におきましては、国内の個人消費に緩やかな持ち直しの動きがみられる一方で、各種消費財の値上げが行われており、今後の消費動向も含めた影響の予測が難しい状況にあります。

このような状況の下、当社は「モノ創りで、笑顔繋ぐ。」を経営ビジョンとして、変容する働き方やライフスタイルの中で頑張る方々を応援し、笑顔で幸せな生活を楽しんでいただくための商品を創出するメーカーとして、常にお客様の立場に立って、興味・共感をえられる実感値の高いモノ創りに挑戦し続けてまいります。また、ウィズコロナにおける新しい生活様式に関連した消費行動の変容を中心に、当社の強みである企画・開発力、プロモーション力を活かし、多様化する消費者ニーズを捉えた高付加価値で競争力の高い商品の開発に取り組んでおり、さらにはインバウンド需要の回復に合わせた取り組みを進めております。

当第1四半期累計期間においては、「ハウスホールド」カテゴリーの主要ブランドである「オキシクリーン」が引き続きリピート需要の伸長により業績を牽引したことに加えて、「ビューティケア」カテゴリーにおいて、「セバメド」ブランドの一般販売を開始し、フェムテック商品である「よもぎ温座パット」において低温タイプの商品を発売開始しました。

原材料価格の高騰や円安進行が継続していることもあり、売上総利益率は低下しておりますが、為替ヘッジ対策により、経常利益は増益を達成することが出来ました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,563,145千円（前年同期比1.7%増）、営業利益は108,582千円（前年同期比28.8%減）、経常利益は175,385千円（前年同期比30.2%増）、四半期純利益は109,726千円（前年同期比17.4%増）となりました。

当社は健康食品、化粧品、日用雑貨の企画及び販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報に代えて商品カテゴリー毎の取り組み状況について記載しております。カテゴリーは、健康食品を中心とする「ヘルスケア」、化粧品を中心とする「ビューティケア」、日用雑貨の「ハウスホールド」で構成されております。なお、2023年2月1日付で、医薬品事業を他社に承継させたことにより、当第1四半期累計期間においては「医薬品」及び「その他」カテゴリーの売上高は発生しておらず、上記3つのカテゴリー売上となっております。

(ヘルスケア)

ヘルスケアに区分される商品におきましては、インバウンド需要の回復途上ではあるものの、全体としては低調な動きとなりました。その結果、ヘルスケア商品の売上高は、48,691千円（前年同期比9.0%減）となりました。

(ビューティケア)

ビューティケアに区分される商品におきましては、フェムテック商品である「よもぎ温座パット」において新商品の販売を開始し、スキンケア商品である「セバメド」の一般販売を開始したこともあり、売上拡大に貢献いたしました。その結果、ビューティケア商品の売上高は、99,544千円（前年同期比6.6%増）となりました。

(ハウスホールド)

ハウスホールドに区分される商品におきましては、酸素系漂白剤ブランド「オキシクリーン」では、継続して店頭プロモーションやPRイベントの実施を積極的に行いました。つめかえタイプの販売も好調に推移していることから継続ユーザーの拡大も進んでおり、売上が増加しております。その結果、ハウスホールド商品の売上高は、1,414,909千円（前年同期比4.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ36,835千円減少し、3,805,937千円となりました。これは主に、現金及び預金が388,415千円減少したことに加え、原材料及び貯蔵品が95,983千円減少した一方で、四半期会計期間末日が休日であったことにより受取手形及び売掛金が450,513千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ115,319千円減少し、1,412,325千円となりました。これは主に、定時返済などで社債が50,000千円、長期借入金が25,000千円減少したことに加え、未払法人税等が32,072千円減少した一方で、買掛金が89,282千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ78,483千円増加し、2,393,611千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が109,726千円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が25,492千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.9%（前事業年度末60.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月14日の「2023年6月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	700,103	311,687
受取手形及び売掛金	653,923	1,104,436
商品及び製品	1,029,279	1,028,375
原材料及び貯蔵品	434,679	338,696
その他	104,777	78,546
貸倒引当金	△1,235	△2,118
流動資産合計	2,921,528	2,859,624
固定資産		
有形固定資産	9,644	8,802
無形固定資産	17,900	16,262
投資その他の資産	893,699	921,248
固定資産合計	921,244	946,312
資産合計	3,842,772	3,805,937
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,346	271,629
未払法人税等	101,162	69,090
賞与引当金	—	10,300
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
その他	363,940	256,097
流動負債合計	847,449	807,116
固定負債		
社債	350,000	300,000
長期借入金	325,000	300,000
資産除去債務	5,194	5,208
固定負債合計	680,194	605,208
負債合計	1,527,644	1,412,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,579	248,579
資本剰余金	238,579	238,579
利益剰余金	1,820,451	1,930,177
自己株式	△293	△293
株主資本合計	2,307,316	2,417,043
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,578	△41,071
繰延ヘッジ損益	23,389	17,639
評価・換算差額等合計	7,810	△23,431
純資産合計	2,315,127	2,393,611
負債純資産合計	3,842,772	3,805,937

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,536,892	1,563,145
売上原価	928,993	1,006,933
売上総利益	607,899	556,211
販売費及び一般管理費	455,425	447,628
営業利益	152,473	108,582
営業外収益		
受取利息	2	4
有価証券利息	—	16,818
為替差益	—	49,517
その他	328	1,984
営業外収益合計	330	68,324
営業外費用		
支払利息	1,174	967
社債利息	137	357
社債発行費	7,039	—
為替差損	9,700	—
その他	2	196
営業外費用合計	18,055	1,521
経常利益	134,748	175,385
税引前四半期純利益	134,748	175,385
法人税、住民税及び事業税	65,003	63,622
法人税等調整額	△23,699	2,036
法人税等合計	41,304	65,659
四半期純利益	93,443	109,726

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。